

クリスチャンの良識の基準

パルマリア教会の服装要件を理解するために、真の教会(当時のローマ教会)がキリスト教の品位に反する服装で教会に入ることが禁止されていた時代を考えると良いです。

現在、真のキリストの教会であるパルマリアン教会は、そのすべての信者とそうでない人々に、キリスト教の良識の規範に従った服を着て教会に入る必要があります。

時代は変わり、着こなしの仕方や形も含めて、その変化に対応する必要があると言う人もいます。人間の流行に順応しなければならないのは神ではなく、神が課した法則に順応しなければならないのは人間であることを人類に理解させる必要があります。

キリスト教の良識の規範に従わない人々が教会に入るとは、神の目に喜ばれるとは考えられません。むしろ、それは彼をひどく怒らせます。

人々がきちんとした服装をせずに教会に入るのを防ぐために、パルマリアン教会には、パルマリアン礼拝堂と囲いに入るために尊重されなければならない一般的な規則があります。

男性



ズボン

必ず長ズボンを着用してください。きつい、透明、または半透明であってはなりません。

靴下

男性は、年齢に関係なく、少なくとも足首を覆う靴下を着用する義務があります。



シャツ

手首までの袖、完全に首までボタンを留めてあり、腕と胸が完全に覆われています。さらに、シャツは透明、半透明またはきつくてはなりません。





14 歳未満のお子様

膝が隠れるショートパンツ (短パン) を着用することができます。しかし、他の項目では、彼らは大人と同じ規律を守ります。

髪

長いもの、色のあるもの、毛先のあるものは禁止されています。また、男性はイヤリング、ピアス、入れ墨を着用することはできません。





ジーンズ

ジーンズは、エル・パ
ルマルの聖域に入るこ
とができません。

靴

エル・パルマルの領域に入る際、
さらには教会に入る際にスポー
ツシューズを着用することは許
可されていません。



絵、文字、ロゴ

大きすぎる文字や絵(動物、車など)、
またはブランドロゴを目に見える衣服
に使用することは禁止されています。

帽子

さらに、マスチックの聖地に入るには、女性
はベールで頭を覆い、男性は頭を覆わずに行
かなければなりません。



女性



ドレス

手首まで届く長袖で、胸の谷間が見えないように、少なくとも首の付け根まで覆う必要があります。きつい、透明、または半透明であってはなりません。また、座っても膝が見えないように十分な長さでなければなりません。開口部や隙間があってはなりません。

スカート

チューブであってはなりません。きつい、透明、または半透明であってはなりません。また、座っても膝が見えないように十分な長さでなければなりません。開口部や隙間があってはなりません。



ブラウス

手首に届く長さの長袖で、胸の谷間が見えないように、少なくとも首の付け根まで覆う必要があります。きつい、透明、または半透明であってはなりません。

靴下

女性は少なくとも膝の下まで届く靴下、またはいかなる素材のパンストを着用する必要があります。



14 歳未満のお子様

少なくとも短い靴下を着用します。しかし、彼女らは他のすべての項目で大人と同じ規律に従います。彼女らが望むなら、大人になる前に、彼女らは靴下やパンストを履くことができます。

ベール

さらに、マスチックの聖地に入るには、女性はベールで頭を覆い、男性は頭を覆わずに行かなければなりません。





靴

エル・パルマルの領域に入る際、さらには教会に入る際にスポーツシューズを着用することは許可されていません。

ズボン

男性用であるため、いかなる場合でも女性はズボンを着用することはできません。



ジーンズ

ジーンズは、エル・パルマルの聖域に入ることができません。

絵、文字、ロゴ

大きすぎる文字や絵(動物、車など)、またはブランドロゴを目に見える衣服に使用することは禁止されています。

